

新型コロナウイルス感染症による留学生交流への影響

現在の状況

- ◆ 2021年11月30日以降 オミクロン株の影響により、原則留学生を含む外国人の新規入国を一時停止。
- ◆ 2022年3月以降、水際対策が緩和され、一日あたりの入国者総数の枠内で留学生の新規入国が再開。
- ◆ 2022年6月1日から1日の入国者数の上限を **10,000人から20,000人に引き上げ**。
- ◆ 学修への影響やコロナへの対応策の蓄積をふまえ、JASSOの奨学金を下記の通り、段階的に再開
 - ・ 2020年11月 海外大学の学位取得目的
 - ・ 2021年 8月 大学間交流協定に基づく1年間（実際の派遣期間9か月以上）のプログラム
 - ・ 2022年 4月 1年未満（実際の派遣期間9か月未満）の派遣期間のプログラム（一部は2022年2月から再開）

INBOUND

279,597人

(2020年5月現在)

242,444人

-13.3%

(2021年5月現在)

出典: JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

(参考)

2022年4月末時点 約6万人

2021年 約1.2万人

2020年 約5.0万人

例年 約12万人 (2019年 約12.4万人 2018年 約12.3万人)

出典: 出入国在留管理庁「出入国管理統計」

OUTBOUND

107,346人

(2019年度)

1,487人

-98.6%

(2020年度)

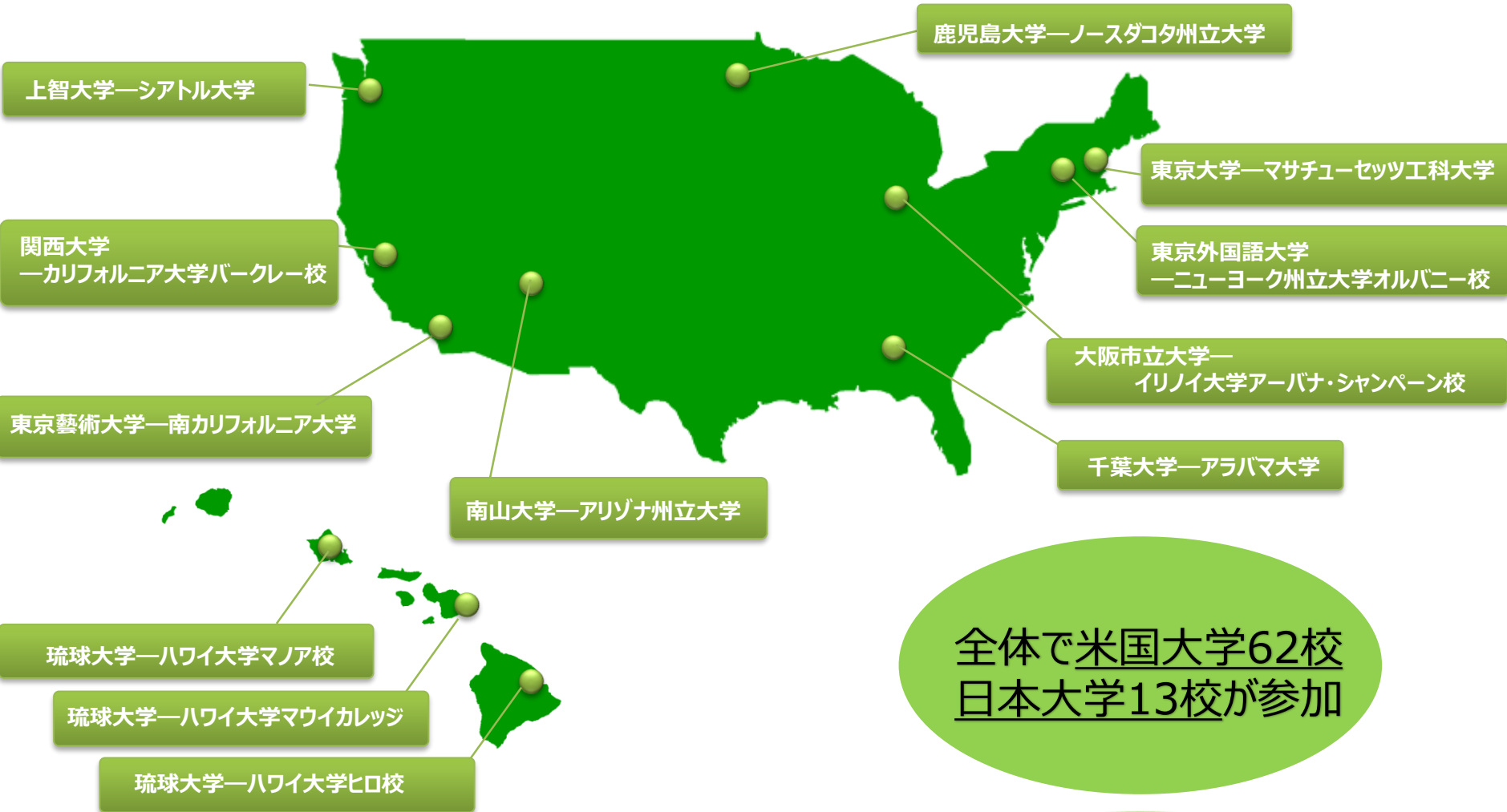
出典: JASSO「日本人学生留学状況調査」



～COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援～

趣旨・目的（補助期間：2018～2022＜5年間＞）

- オンラインを活用した双方向の国際協働学習（COIL※）方法に基づく、我が国の大学と米国の大学との大学間交流を支援。
※COIL：Collaborative Online International Learning
- 米国教育協議会（ACE: American Council on Education）との協力による実施。



全体で米国大学62校
日本大学13校が参加



大学の世界展開力強化事業

～COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援～



文部科学省

大学名（代表大学）	設置形態	事業名	相手大学等名
千葉大学	国立	COILを使用した日米ユニーク・プログラム	アラバマ大学、シンシナティ大学、 ニュースクール大学 他 1 機関
東京大学	国立	日米のCOIL型教育を活用した 先端ワールド・グローバル工学人材養成プログラム	マサチューセッツ工科大学
東京外国語大学 国際基督教大学	国立	「多文化主義的感性とコンフリクト耐性を育てる 太平洋を越えたCOIL型日米教育実践」	サンディエゴ州立大学、ニューヨーク州立大学オルバ ニー校、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校、 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 他 6 機関
東京藝術大学	国立	日米ゲームクリエイション共同プログラム - メディア革新時代の新しいアーティスト育成 -	南カリフォルニア大学
鹿児島大学	国立	米国から鹿児島、そしてアジアへ —多極化時代の三極連携プログラム	ジョージア大学、ノースダコタ州立大学、サンノゼ州立 大学、オクラホマ州立大学、タスキーギ大学、テキサス A&M大学 他 3 機関
琉球大学	国立	COIL型教育を活用した太平洋島嶼地域の 持続的発展に資するグローバルリーダーの育成	ハワイ大学マノア校、ハワイ大学ヒロ校、ハワイ大学 マウイカレッジ、ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ、 グアム大学 他 5 機関
大阪市立大学	公立	日米をつなぐ共創的ソーシャルイノベーター育成 プログラム	アンドリュース大学 他 1 機関
上智大学 お茶の水女子大学 静岡県立大学	私立	人間の安全保障と多文化共生に係る課題発見型 国際協働オンライン学習プログラムの開発	カリフォルニア大学デービス校、ボストン・カレッジ、 シアトル大学、ポートランド大学 他6機関
南山大学	私立	日米をつなぐNU4-COIL2 ～地域に根ざしたテイラーメイド型教育プログラム～	ノースジョージア大学、ノーザンケンタッキー大学、メリー ランド大学ボルティモアカウンティ校、アリゾナ州立大学、 ジョージタウン大学 他 3 機関
関西大学	私立	グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plusプログラム	北アリゾナ大学、カリフォルニア大学バークレー校、 北イリノイ大学、イリノイ大学アーバナシャンペーン校、 ニューヨーク州立ファッション工科大学、ミシガン州立 大学、デポール大学、西ワシントン大学 他 3 機関

関西大学

- ◆ プラットフォーム校である関西大学主催のCOILに関するウェビナーやオンラインワークショップ参加者が2,548名と、2019年度から10倍以上増加。
- ◆ COIL実践に関する各種情報交換や研修・交流事業などを実施するJPN-COIL協議会について、正会員38校、賛助会員7団体、個人会員9名、国際会員5大学が加盟。
- ◆ 在京米国大使館による財政支援の下、**米国教育協議会(ACE)**と関西大学の**グローバル教育イノベーション推進機構(IIGE)**が提携し、日米の大学26校がそれぞれペアを組み、COIL型教育を行う**教職員向けオンライントレーニング**を実施。



東京藝術大学

- ◆ 連携先の南カリフォルニア大学の学生と、5チームの共同制作チームを構成し、約1年に及ぶ長期間の**ゲーム制作プログラム**を実施。
- ◆ 世界水準、最新研究・情報をもとに、学生へのフィードバックを専用アプリを使って日常的に行い、日米の教員間で、綿密に計画・構造化された共同プロジェクトの進捗状況を可視化して把握するなど、オンラインの特性を最大限に生かした教育を実現。
- ◆ 成果発表の**ゲームコース展**は、オンラインとリアル会場のハイブリッドにより2021年3月に開催し、約2,000人のオンライン参加者を集めた。一方で5月にはUSCの「GAME EXPO」にも出品し、米国の学生はもとより、**ゲーム教育や産業の関係者たちに大きくアピールした。**



VR技術活用の実践場面



上智大学(お茶の水女子大学・静岡県立大学と連携)

- ◆ お茶の水女子大学、静岡県立大学と連携し、「**包摂的リーダーシップ**」をテーマとしたCOIL+留学プログラムを開催。1学期間日米4大学によるCOILを行った後、短期集中のオンライン短期研修を実施し、日本、アジア、米国における多様性とリーダーシップについて学んだ。
- ◆ 静岡県立大学と連携し、米国だけでなく、**モンゴルやタイの大学と、看護教育に関するオンライン合同プログラム**を実施。カリキュラムや国家試験の兼ね合いから**留学が困難な看護学生に、グローバルな体験の機会**を提供。



東京外国語大学(国際基督教大学と連携)

- ◆ 南カリフォルニア大学と連携し、課題解決型のインターンシップのCOIL型授業をオンラインにより実施。日本のグローバル企業6社に対し、**日米学生混成グループ1つにつき1社を担当する形で、ビジネスコミュニケーションの日米差等、各企業が抱える問題への解決方法を提案。**

